

---

# 殺神鬼

湧稀

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

殺神鬼

### 【Nコード】

N7429Q

### 【作者名】

湧稀

### 【あらすじ】

「お前はもう人間じゃない。・・・神だ」  
人間には本来備わるはずのない能力―”神技”>しんぎくに目覚めた殺人鬼、

―”神の能力”>キラー・スキル<  
人の道から外れし者に人らしい死を与える者、―神崎刀夜>かんざきとうや<

だがしかし、彼もまた人の道から外れし者である。

昼は人間らしいありきたりな高校生、夜は常に死が満ち溢れている。



## 第一章 前編 「日常は崩れだす」 (前書き)

小説を生まれて初めて書きます。至らない所が多々あると思います  
が、読んで頂いて指摘などとして頂けると嬉しいのです。

## 第一章 前編 「日常は崩れだす」

「やってられっか!」

俺はそう言っただけで学校から持ち帰ってノルマをこなして明日提出しなければならぬ、いわゆる課題を投げ出した。

「なーに言っただけで、学生なんだから勉強するのは義務みたいなもんだろ?」

「・・・チツ」

このいちいち口うるさい男は俺の悪友、一向井火十志>むかいひとしく。頭は言うほど良いわけじゃない。だがスタイル抜群、運動神経抜群のイケメンだ。気に食わない!

「そ、そうだよ。ちゃんとやろうよ・・・」

「・・・」

この弱々しく火十志に加勢して俺に勉強をやらせようとしている彼女は、

—上浦真実>かみうらまみく。

とても大人しくて小柄な身体、童顔。どこか人形じみてる彼女。

実は結構タイプだったりしたりする。ゴスロリとか似合いそうだな。

「いいだろ、別に。課題なんかやる意味ねえって。それよりさ、どっかに遊びに行かない?どうせお前らは終わってんだろ、課題」

「おう、一応終わってるよ。お前と違ってな。」

「・・・チツ。だろうな。」

「私も終わったよ。刀夜くん」

「おー、相変わらず速いね。上浦は。」

忘れてた。彼女、学年トップの天才なんだよね。幼い顔して頭がいい。サイコーだね。ゴスロリメイド服とか似合うんじゃないか?

「えへへ、それほどでもないよ。でも刀夜くんホントに課題やらなくて大丈夫?」

「ああ、問題ないよ。だから遊びに行こうぜ。」

「でも、最近物騒な事件とか起きてるし……」

「あの”男子高校生変死事件”のことか？」

「うん……」

「……大丈夫だって！あれは夜中に起きた事件だろ？昼間っから人殺しなんか、」

「いや」

と、そこまで言いかけた時、火十志が話に入りこんできた。

「昼間にあっただよ。先週の日曜日、前の事件と同じ死に方をした男子高校生の遺体が見つかったらしい。」

「……マジ？」

「ああ、ニュースでやってた。今度は2人死んでいたらしい。」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7429q/>

---

殺神鬼

2011年10月8日18時15分発行